

平成 2 0 年 度

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検及び評価報告書

紋別市教育委員会

目 次

はじめに

1 点検及び評価の趣旨	1
2 点検及び評価の対象	1
3 点検及び評価の方法	1

第1 点検及び評価の結果

1 教育委員会の活動状況	2
(1) 会議の状況	2
(2) 研修会等への参加の状況	6
(3) 教育委員の文教施設視察状況	8
(4) 教育委員の各種行事・式典等への出席	8
(5) 紋別市生涯学習推進計画の改訂	8
2 平成20年度教育行政における主要施策・事業等についての点検	9
(1) 幼児教育	9
(2) 学校教育	10
(3) 少年教育	13
(4) 青年教育	16
(5) 成人教育	17
(6) 女性教育	18
(7) 高齢者教育	18
(8) 芸術・文化	19
(9) 社会体育	20
(10) 博物館と文化財	22
(11) 図書館	24

第2 学識経験者の意見

1 意見提出者	25
2 点検及び評価に関する意見	25

資 料

1 紋別市の教育目標と内容	29
2 教育委員名簿	30
3 行政組織	31
4 平成20年度小中学校児童生徒数及び学級数	33
5 平成20年度児童生徒健康診断の状況	34
6 平成20年度学校給食の状況	35
7 平成20年度生涯学習施設等利用状況	36

はじめに

1 点検及び評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され（平成20年4月1日施行）、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

これを受けまして紋別市教育委員会では、今年度より法に基づく点検及び評価を行い、有識者の意見を付してその結果を公表することで、市民の皆様に関すること務の管理及び執行の状況について説明するとともに、今後の施策・事業の展開等に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図っていきます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行いその結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の対象

平成20年度の教育委員会の活動状況のほか、教育委員会各課において実施した施策・事業等を点検及び評価の対象としています。

3 点検及び評価の方法

点検及び評価にあたっては、教育委員会会議の開催状況など、教育委員会の活動状況、施策・事業等の実施状況を明らかにするとともに、課題等と今後の取組の方向性について示しています。

第1 点検及び評価の結果

1 教育委員会の活動状況

(1) 会議の状況

教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び紋別市教育委員会会議規則に基づき、5人の教育委員が教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針、教育委員会規則の制定など、教育に関する様々な議題について審議します。

平成20年度は、次のとおり開催されました。

それぞれの会議においては、事務局から付議案件の提案理由やその内容についての説明が行われた後、教育委員の質疑、審議を経て、いずれも決定、了承されました。

① 会議開催回数

(ア) 教育委員会定例会 12回 (毎月1回)

(イ) 教育委員会臨時会 4回 (4月・12月・3月2回)

② 教育委員会 (会議)

(ア) 審議事項 議決案件 34件 報告案件 27件

(イ) 傍聴状況 傍聴人数 0人

(ウ) 教育委員会会議録

開催年月日	付 議 案 件	審議結果
20. 4. 1 (臨時会)	(選挙) ・ 紋別市教育委員会委員長の選挙について	原案可決
20. 4. 25 (定例会)	(議案) ・ 紋別市立博物館条例施行規則の一部改正について ・ 紋別市教育委員会附属機関等の委員の任免について (報告) ・ 平成19年度教育委員会各課事業結果 (後期分) について ・ 平成20年度教育委員会各課事業について	原案可決

開催年月日	付 議 案 件	審議結果
20. 5. 22 (定例会)	(議案) ・紋別市教育委員会附属機関等の委員の任免について ・平成20年度奨学生を選定について ・平成20年度教育費補正予算要求について ・紋別市立中学校体育文化振興補助要綱の一部改正について (報告) ・区域外通学について	原案可決
20. 6. 25 (定例会)	(議案) ・紋別市教育委員会附属機関等の委員の任免について ・幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について ・教職員の一般事故に係る懲戒処分の内申について (報告) ・紋別市民憲章推進協議会委員の委嘱について ・平成20年第2回紋別市議会定例会について	原案可決
20. 7. 22 (定例会)	(議案) ・紋別市教育委員会附属機関等の委員の任免について ・紋別市学校文書取扱規程の一部改正について (報告) ・オホーツク紋別音楽セミナー2008の開催について ・もんべつホワイトビーチフェスティバルについて ・第27回インターナショナルオホーツクサイクリングについて ・市営大山スキー場のリフトについて	原案可決

開催年月日	付 議 案 件	審議結果
20. 8. 22 (定例会)	(議案) ・平成20年度教育費補正予算要求について ・紋別市体育施設条例の一部改正について ・平成21年度に使用する教科用図書の採択について ・紋別市教育委員会附属機関等の委員の任免について (報告) ・スポーツ合宿事業に係る実施状況報告と今後の予定について	原案可決
20. 9. 26 (定例会)	(報告) ・紋別市青少年問題協議会委員の委嘱について ・オホーツク紋別音楽セミナー2008の開催結果について ・平成20年第3回紋別市議会定例会について ・学校給食における事故米の使用状況について ・上藻別旧駅逦の登録有形文化財の指定について	原案可決
20. 10. 21 (定例会)	(議案) ・紋別市体育施設条例施行規則の一部改正について ・紋別市市史編さん委員会設置規則の一部改正について ・教職員の交通事故(違反)に係る懲戒処分の内申について (報告) ・平成20年度教育委員会各課事業結果(前期分)について	原案可決
20. 11. 12 (定例会)	(議案) ・紋別市教育委員会教育長の任命について ・平成20年度教育費補正予算要求について (報告) ・生徒による教師への暴力行為について	原案可決

開催年月日	付 議 案 件	審議結果
20. 12. 24 (定例会)	(報 告) ・平成21年成人を祝うつどいについて ・平成20年第4回紋別市議会定例会について	原案可決
20. 12. 29 (臨時会)	(選 挙) ・紋別市教育委員会委員長の選挙について	原案可決
21. 1. 16 (定例会)	(協 議) ・平成21年度予定の教育委員会主要事業について (報 告) ・平成20年度卒業式の日程について ・平成21年成人を祝うつどいの開催結果について ・第85回箱根駅伝について ・市内小中学校の卒業式、入学式の通知について ・紋別北高等学校の跡地利用について	原案可決
21. 2. 17 (定例会)	(議 案) ・平成20年度教育費補正予算要求について ・平成21年度教育費予算要求について ・紋別市スポーツ振興助成金交付要綱の一部改正について ・紋別市スポーツ合宿誘致事業助成要綱の一部改正について (協 議) ・平成20年度小中学校の卒業式について (報 告) ・紋別市生涯学習推進計画について	原案可決
21. 3. 11 (臨時会)	(議 案) ・学校教職員の人事内申について	原案可決
21. 3. 25 (臨時会)	(議 案) ・教育委員会職員の人事異動について	原案可決

開催年月日	付 議 案 件	審議結果
21. 3. 25 (定例会)	(議案) ・紋別市青少年健全育成推進委員選任要綱の一部改正について ・紋別市スポーツ合宿誘致事業助成要綱の一部改正について ・紋別市立図書館、紋別市立博物館職員の勤務時間及び休暇等に関する規程の一部改正について ・平成21年度全国学力・学習状況調査の実施について (報告) ・平成21年第1回紋別市議会定例会について ・紋別北高等学校の跡地利用について(北海道教育委員会への要請)	原案可決

(2) 研修会等への参加の状況

教育委員会では、委員長を中心に各種研修会等に参加し、他市教育委員会との情報交換や研鑽に努めています。

平成20年度は、次の研修会等に参加しました。

開催年月日	場 所	研 修 等	参 加 者
20. 4. 18	網 走 市	網走管内教育推進会議・網走管内教育委員会協議会教育長部会	教育長
20. 5. 8	芦 別 市	北海道都市教育長会(春季)総会	教育長
20. 5. 12	網 走 市	網走管内教育委員会協議会教育長部会	教育長
20. 5. 14	高 松 市	全国都市教育長協議会定期総会	教育長
20. 6. 12	網 走 市	網走管内教育委員会協議会総会	委員長外

開催年月日	場 所	研 修 等	参 加 者
20. 6. 20	滝 上 町	紋別ブロック教育長会議	教育長
20. 7. 11	札 幌 市	北海道市町村教育委員研修会	教育長
20. 7. 25	網 走 市	網走管内市町村教育委員会教育長会議	教育長
20. 8. 26	網 走 市	北海道教育委員会連絡協議会定期総会	委員長外
20. 9. 2	網 走 市	網走管内市町村教育委員会教育長会議	教育長
20. 10. 13	網 走 市	網走管内教育委員会協議会教育長部会	教育長
20. 10. 20	雄 武 町	紋別ブロック教育長会議	教育長
20. 10. 23	網 走 市	網走管内市町村教育委員会教育長研修会	教育長
20. 11. 13	網 走 市	網走管内教育委員会協議会教育長部会	教育長
20. 12. 3	小清水町	網走管内教育委員会協議会教育長部会 社会教育専門委員会	教育長
20. 12. 8	網 走 市	網走管内市町村教育委員大会	委員長外
21. 1. 8	網 走 市	網走管内市町村教育委員会教育長会議	教育長
21. 1. 28	網 走 市	網走管内教育委員会協議会教育長部会	教育長
21. 3. 26	網 走 市	網走管内教育委員会協議会教育功労者 表彰式	教育長

(3) 教育委員の文教施設視察状況

教育委員は例年、学校現場や授業の状況を実地に視察し教育施策に反映させるために学校訪問等を実施していますが、平成20年度も市内の小学校、中学校の訪問を行いました。

(4) 教育委員の各種行事・式典等への出席

市内小中学校の卒業式、道立学校等の学校行事、「成人を祝うつどい」等の社会教育関係行事、市内各種団体等の記念行事等に出席しました。

(5) 紋別市生涯学習推進計画の改訂

紋別市では平成7年に生涯学習推進計画を策定し、その後社会状況の変化に即した改訂を行い、市民の学習活動を支援し生涯学習の振興を図ってきました。

平成20年度は、教育基本法に定められた「生涯学習の理念」や「第5次紋別市総合計画」の中に位置づけされた基本目標等を生涯学習の視点から総合的に推進することを目的として、平成21年度から25年度までの生涯学習推進計画の改訂を行いました。

2 平成20年度教育行政における主要施策・事業等についての点検

平成20年度の教育に関する市政執行方針及び紋別市生涯学習推進計画に位置づけられた施策・事業の実施結果について、点検を行いました。

【事業点検】

「達成度」欄には、概ね順調に達成しているものは○、課題が多く見直しが必要なものは、△を記入した。

(1) 幼児教育

(推進目標)

すべての幼児が集団生活を通して人間形成の基礎を培われるよう、幼稚園・保育所の連携を強め、障害児教育の振興を図るなど、教育機会の拡充を進める。

また、幼児の心身の健やかな発達を目指し、指導内容や方法の改善を図りながら施設の整備や適正配置を進める。

推進の重点項目	幼稚園就園奨励
具体的施策	幼稚園就園者の保護者に対する経費の一部を補助する。
事業名	幼稚園就園奨励費補助事業
実績	市内3幼稚園入園児数301人に対し、276人 23,261,000円の助成を行った。
達成度	○

推進の重点項目	研修・研究の交流
具体的施策	私立幼稚園教職員の研修活動に要する経費の一部を助成し、教員の質的向上を図る
事業名	紋別市私立学校等教職員研修費補助
実績	市内3幼稚園21人の研修経費の一部助成を行った。
達成度	○

推進の重点項目	学習情報提供の充実
具体的施策	家庭教育資料の配付
事業名	家庭教育資料配付事業
実績	就学時前児童の保護者に対し、家庭教育推進のため冊子を作成し配布。 冊子 300冊
達成度	○

(2) 学校教育

(推進目標)

生涯学習の基礎を培うための初等中等教育においては、「ゆとり」の中で自ら学び自ら考える力など「生きる力」の育成を基本とする。

- ①教育内容の厳選と基礎基本の徹底や一人ひとりの個性を生かすための教育の推進
- ②豊かな人間性とたくましい身体をはぐくむための教育の推進
- ③教職員の資質や職能を高め、社会の進展や教育改革の動向に対応できる学校の創造

推進の重点項目	教育環境の整備
具体的施策	外国人講師の招聘
事業名	外国語指導助手配置事業
実績	平成13年度の中学校へのALT配置(1名)に続き、平成23年度からの「新学習指導要領」における小学校での外国語活動に対応するため、小学校へのALT1名を配置した。
達成度	○

推進の重点項目	教育環境の整備
具体的施策	児童生徒の安全推進を図る。
事業名	児童生徒安全推進事業
実績	平成19年度から児童生徒の安全確保の取組として、小学校新入学児童への防犯ブザーの配布及びPTAや町内会等で構成されるパトロール組織や大規模校を中心に防犯パトロール用ベストやマグネットを配布した。
達成度	○
課題	全中学校区への防犯パトロール体制の整備

推進の重点項目	教育環境の整備
具体的施策	児童生徒の健康保持・増進のため、健康診断・各種検査などの健康管理を図る。
事業名	児童生徒健康診断事業
実績	学校医等と連携し、定期健康診断、歯科検診、就学時検診、側わん症検診、心臓検診、結核検診、耳鼻咽喉科検診、眼科検診、ぎょうちゅう検査、尿検査などを行っている。
達成度	○

推進の重点項目	教育環境の整備
具体的施策	安全・安心な学校給食の実現と給食配給における衛生面の向上のため、市内小中学校で使用する給食用食器の更新及び牛乳保冷庫の整備
事業名	学校給食備品整備事業
実績	牛乳保冷庫5台(紋小、潮小、南小、紋中、潮中)の配置及び市内12校の給食用食器(汁用ボール、飯用ボール、深皿)の更新整備を行った。
達成度	○
課題	給食用食材の高騰による、学校給食費の維持

推進の重点項目	教育環境の整備
具体的施策	高等学校以上に修学的能力があるにもかかわらず、経済的理由により進学が困難な者に対し奨学金を貸与し、等しく教育を受ける機会を与える。
事業名	紋別市奨学資金貸与事業
実績	高校1名、大学等9名に2,712,000円の奨学資金の貸与を行った。
達成度	○
課題	経済状況悪化に伴う申請者増への対応

推進の重点項目	教育環境の整備
具体的施策	経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者負担を軽減するため、学校教育に係る経費の一部を助成する。
事業名	小中学校就学援助事業
実績	準要保護世帯に対し、学用品・通学用品費、修学旅行費（要保護世帯含む）、体育実技用具費、新入学児童学用品費、学校給食費、医療費の一部扶助及び特別支援教育就学奨励費として、小学校292人、中学校170人に42,429,237円の一部扶助を行った。
達成度	○

推進の重点項目	教育環境の整備
具体的施策	学校支援地域本部の設置
事業名	学校支援地域本部事業
実績	文部科学省の新規事業として平成20年度に事業化。 地域ぐるみで学校を支援する学校支援地域本部を立ち上げた。 平成20年度は、潮見小・中学校区で安心安全パトロールを実施。
達成度	○
課題	平成21年度は、地域と学校の調整役として「地域コーディネーター」1名を配置し、地域の理解を得ながら市内全体に広げていく。

推進の重点項目	教育環境の整備
具体的施策	施設設備の整備
事業名	小学校施設改修・整備事業
実績	主な改修・整備の実施状況 ・潮見小学校グラウンド整備工事（10,164千円） ・潮見小学校暖房・給湯配管設備改修工事（38,535千円） ・南丘小学校屋根改修工事（4,074千円）、南丘小学校学校プール解体工事（3,780千円）、上渚滑小学校暖房機器更新（762千円）
達成度	○
課題	上渚滑小学校暖房機器更新は平成20年度から23年度の4年間で計40台を年次的に更新予定で、この内7台を実施。

推進の重点項目	教育環境の整備
具体的施策	施設設備の整備
事業名	小向小学校校舎の環境改善
実績	<p>主な環境改善の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来と同様、窓の開閉、機械換気の励行と共に、空気清浄機や体調不良になった場合の緊急避難プレハブ小屋の設置を引続き実施。 ・PTA 役員と協議し、要望も含め安全安心のため、化学物質濃度が高くなる夏季とストーブの影響が懸念される冬季の計2回、空气中化学物質の測定を実施。 ・測定の結果、基準値をクリアしており、また昨年度と比較し数値が減少している。
達成度	○
課題	現在の小向小学校は、空気環境については改善されているが、未だ体調不良を訴える児童、生徒、教職員等がいるので、今後も体調不良の児童、生徒、教職員等と連携を図り、ケアに万全を尽くすと共に、学校管理マニュアルに沿った環境改善に努めなければならない。

推進の重点項目	自ら学ぶ力を育てる教育活動の充実
具体的施策	コンピューター等の教育機器の活用
事業名	小中学校高度情報化推進事業
実績	小学校2人に1台、中学校1人に1台のコンピューター教室への配置整備を行った。
達成度	○
課題	小学校1人1台の配置整備

推進の重点項目	豊かな心を育む教育活動の推進
具体的施策	道徳教育の重視
事業名	教育指導研究事業
実績	渚滑中学校で開催した網走管内道徳教育公開研修会への助成を行った。
達成度	○
課題	参観日等における道徳公開授業の実施

推進の重点項目	豊かな心を育む教育活動の推進
具体的施策	障害ある児童生徒への理解と適切な指導
事業名	学校介助員配置事業
実績	紋別小学校、潮見小学校、潮見中学校に各1名を配置していたが、新たに南丘小学校に1名の配置を行った。
達成度	○

推進の重点項目	豊かな心を育む教育活動の推進
具体的施策	学校不適応児童生徒に対する、教育相談や学習・集団活動等についての指導・援助を行い、学校生活への復帰を促す。
事業名	学校適応指導事業
実績	適応指導教室（ふれあい教室）への指導・相談員の配置を行っている。
達成度	○

推進の重点項目	豊かな心を育む教育活動の推進
具体的施策	いじめ・不登校等の教育相談
事業名	いじめ問題等対策事業
実績	教育相談員を配置し、教育相談を行っている。
達成度	○

推進の重点項目	教育研究・教職員研修の確立
具体的施策	教育実践課題に基づく研究協議の充実と評価活動
事業名	教育指導研究事業
実績	市内小中学校教職員で組織された、教育研修実践指定校、学校内教育研究、へき地・複式教育研究、特別支援教育研究、学校図書館教育研究など、学習指導上の研究活動に対して助成を行った。
達成度	○

推進の重点項目	教育研究・教職員研修の確立
具体的施策	特別支援教育の充実
事業名	特別支援教育推進委員会研修事業
実績	特別支援教育推進委員会委員・教職員の研修として、紋別養護学校と連携し、紋別市特別支援教育講演会を開催した。
達成度	○

(3) 少年教育

(推進目標)

自然とのふれあいや社会参加などの体験学習の拡充を図り、豊かな心とたくましい身体を持つ少年の育成に努める。

推進の重点項目	自然体験学習機会の拡充
具体的施策	青少年教室等の実施
事業名	子供の体験活動事業
実績	「雪像づくり」など実施回数11回 ・参加者～88名(小学)・協力者～38名(中学11名、大人27名)
達成度	○

推進の重点項目	団体の自主的活動の推進
具体的施策	もんべつしこどもまつりの開催
事業名	子供会・各団体との共催事業の実施
実績	育成協議会主催、教育委員会が共催、他5団体の協力のもと森林公園にて実施し、300人の参加となった。
達成度	○

推進の重点項目	管外交歓研修の実施
具体的施策	子ども会等リーダー養成研修会（市内宿泊研修、札幌研修、札幌南区交歓研修会）の実施
事業名	子ども会等リーダー養成研修事業
実績	・札幌研修を中心とするリーダー養成研修会は、研修生15名、リーダー11名、育成者等8名の参加 ・札幌市南区子ども会との交歓研修会は、紋別市38名、札幌市51名の参加。
達成度	○

推進の重点項目	子供会指導者の育成
具体的施策	育成者研修会の実施、各研修会参加支援
事業名	子供会等指導者育成事業
実績	・育成者研修 実施日～2月18日 場所～文化会館 参加者～育成者17名 ・各研修会参加 参加回数～3回 参加者～育成者7名
達成度	○

推進の重点項目	異世代間交流事業（子供会活動の促進）
具体的施策	地域子供会に対する運営経費の一部を補助する。
事業名	子供会活動援助事業
実績	市内子ども会3団体（渚滑・上渚滑・沼の上）に運営経費の一部助成を行った。
達成度	○

推進の重点項目	ジュニアリーダーの育成
具体的施策	北海道地域子ども会リーダー研修会（①）及び青少年体験活動推進事業（②）の参加経費助成、リーダークラブ活動運営費（③）の一部補助。
事業名	リーダークラブ活動支援事業
実績	①参加者3名に対する参加経費の助成 ②参加者1名に対する参加経費の助成 ③リーダークラブに運営経費の一部助成を行った。
達成度	○

推進の重点項目	有害環境浄化の推進
具体的施策	道の強調月間に併せ市内一円にて青少年の非行防止全道一斉立入調査を実施
事業名	有害図書等の排除活動及び啓発運動の促進事業
実績	・実施日 10月28日 11月12日 11月26日 ・参加機関 北海道立入調査員2名（教委職員） 少年補導センター1名 紋別警察署1名 紋別市青少年健全育成推進委員協議会2名 ・調査箇所 コンビニエンスストア15店 大型書店2店 自動販売機等2箇所7台
達成度	○

推進の重点項目	青少年補導活動
具体的施策	校外生活補導の充実
事業名	少年補導センター運営事業
実績	・出勤回数 ①帰宅補導12回 ②夜間補導11回 ③バス添乗補導12回 ④特別補導(行祭事)14回 ・出勤人数 ①50人 ②39人 ③17人 ④52人
達成度	○

推進の重点項目	青少年相談事業
具体的施策	青少年相談・いじめ相談の開設
事業名	少年補導センター運営事業
実績	通常相談 平日9時～16時 夜間相談 月曜日・金曜日18時～20時
達成度	○

推進の重点項目	留守家庭児童園の充実
具体的施策	市内3校での留守家庭児童園の開設及び民間クラブへの支援
事業名	放課後児童(留守家庭児童)対策事業
実績	・開設場所 ①紋別小学校 ②潮見小学校 ③南丘小学校 ・開設日、時間 平日(学校開業日)・下校時～18時 ・平均登録人数 ①37人 ②44人 ③15人 ・市内1民間クラブ(平均登録児童数11人、開設日数288日)に運営経費の一部助成を行った。
達成度	○

推進の重点項目	休日の拡大に伴うこどもの居場所づくり
具体的施策	学校プール廃止に伴う夏期休暇時の代替施設(ステア)まで送迎バスの運行
事業名	夏休み子ども水泳交流事業
実績	・運行区間 ①沼の上方面(沼ノ上小、小向小、旧藻別小、元紋別小) 午後1往復 ②中渚滑方面(中渚滑小、渚滑小、潮見小、紋別小、紋別中、南丘小) 午後1往復 ・利用人数 ①80人 ②241人
達成度	○

(4) 青年教育

(推進目標)

豊かな心を持つたくましい青年を育成するため、家庭・学校・地域社会が連携を強めて、幅広い青年組織づくりに努める。

推進の重点項目	青年団体等指導者の育成（青年リーダーの育成）
具体的施策	リーダー交流や青年国内研修（中・上級リーダー養成研修への参加支援）参加の支援
事業名	青年団体等指導者育成事業
実績	・リーダー交流 札幌市南区リーダー交流会参加1団体（参加者11人）に対し助成を行った。 ・青年国内研修中級リーダー養成研修参加者1人に対し、助成を行った。
達成度	○

推進の重点項目	職域青年の学習活動機会の提供
具体的施策	青年学園の開設と充実
事業名	青年団体育成事業
実績	・開設期間、回数 5月～2月、料理教室など18回 ・参加人数 22名
達成度	○

推進の重点項目	青年団体の育成
具体的施策	青年団体への運営経費の一部補助
事業名	青年団体育成事業
実績	市内で活動する青年団体で構成する協議会に対し、運営経費の一部助成を行った。
達成度	○

推進の重点項目	施設の充実
具体的施策	オホーツク青年の家建替事業
事業名	オホーツク青年の家建替事業
実績	青年の家の老朽化に伴い、事業の目的に沿った青年の家の建て替えを検討する。 当面、現在の青年の家を活用するが、地理的条件、社会情勢、市の財政状況を勘案し、廃校施設の活用も視野に入れて検討する。
達成度	△
課題	更なる少子化、利用状況の推移、財政状況などを見据え、青年の家のあり方全般について再検討し、なるべく早く結論をだす。

(5) 成人教育

(推進目標)

市民が豊かな人間性を育み、人生を充実させ、自己実現を図るための生涯学習活動を推進する。

推進の重点項目	生涯学習推進事業
具体的施策	市民の声を反映させた講座の開設
事業名	市民大学講座
実績	「健康と快適生活」をテーマに、1月から3月まで4回開設。計64名参加
達成度	○

推進の重点項目	生涯学習推進事業
具体的施策	市民のニーズに応じた講座の開設
事業名	公民館講座開設事業
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・水墨画講座、組み木工作講座、きり絵講座、カントリークラフト講座、エッセイ講座の5講座を開設 計56名参加 ・ネイルケア教室、小黒三郎先生の組み木教室、組み木教室、組み木教室（お雛様）、組み木教室（五月人形）などの9教室を開設 計98名参加 ・上渚滑地区公民館講座 ダンス講座、トールペイント講座、手芸講座3講座を開設 計41名参加 教室：健康教室を開設 計30名の参加
達成度	○

推進の重点項目	生涯学習推進事業
具体的施策	基礎的なパソコン講座の開設
事業名	パソコン講座開設事業
実績	パソコン講座に新機種を導入し、7講座を開設した。 基礎講座3回17名、ワード講座2回10名、エクセル講座2回22名、年賀状作成講座1回6名など 計55名参加
達成度	○

推進の重点項目	生涯学習推進事業
具体的施策	基礎的なパソコン講座の開設のための機器更新
事業名	市民講座用パソコン購入事業
実績	講座用パソコンをウインドウズ98からビスタに更新した（11台）
達成度	○

(6) 女性教育

(推進目標)

男女共同参画の意識啓発を図り、あらゆる分野での女性の自主活動や社会参加の活発化を図る。

推進の重点項目	社会参加・学習活動の促進
具体的施策	各種女性研修講座の開設
事業名	各種女性研修講座開設事業
実績	講座開設（裁判員制度について～もし、あなたが裁判員に選ばれたら～） 参加人数30名
達成度	○

(7) 高齢者教育

(推進目標)

高齢者の生きがいを求める学習活動を活発にするとともに、その豊かな知識、技能、経験を地域社会に還元する活動を促進する。

推進の重点項目	学習活動の推進
具体的施策	高齢者が参加しやすい、学習活動や学習機会の提供
事業名	ことぶき大学運営事業
実績	・ペン習字コース、手芸コース、ダンスコース、民謡コース、書道コース、パークゴルフコース、パソコンA、パソコンB、パソコンC、パソコンD、陶芸コース、カラオケコース、渚滑カラオケコース、シルバーコーラスの14コースで学習。 在籍者数335名 ・その他講演会、青空教室、見学体験教室、宿泊研修を実施
達成度	○

(8) 芸術・文化

(推進目標)

北国の風土や生活に根ざした個性ある豊かな市民芸術・文化活動の促進を図るとともに、郷土芸能などの伝承活動を促進する。

推進の重点項目	芸術鑑賞機会の拡充
具体的施策	紋別市芸術文化機構「ホットランドオホーツク」への支援
事業名	中央芸術招聘事業
実績	<p>紋別市芸術文化機構「ホットランドオホーツク」が設立して10周年を迎え、中央の有名な歌手を招聘した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10周年記念事業 紀尾井シンフォニエッタ東京紋別公演、ノッポさんとあそぼう！～ノッポさんとなかまたち～、劇団四季紋別公演「ジーザス・クライスト＝スーパースター」、奥田民生紋別公演、オホーツクフォークまつり・2008、アコースティックパーティ2008、フルートアンサンブルLynxコンサート、琴・尺八、春の海21コンサートの8公演を実施。集客数合計3,972名。また育成事業として邦楽、ギター、書道、演劇、吹奏楽、エレキギターセミナーを実施。
達成度	○

推進の重点項目	芸術鑑賞機会の拡充
具体的施策	中央の有名な音楽家を招き、紋別市でセミナーを実施
事業名	音楽合宿誘致事業
実績	<p>オホーツク紋別音楽セミナー2008と題し弦楽器部門、管楽器部門を合同で実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弦楽器部門 講師7名、生徒ピアノ2名、ヴァイオリン14名、ヴィオラ12名、チェロ9名参加 ・管楽器部門 講師2名、生徒トランペット7名、トロンボーン4名参加
達成度	○

(9) 社会体育

(推進目標)

健康で明るい生涯スポーツ社会の実現に向け、地域におけるスポーツ環境の整備充実と学校と地域社会・スポーツ団体との連携を推進する。

推進の重点項目	地域におけるスポーツ環境の整備充実
具体的施策	市民ニーズに応じた適確なスポーツ情報の提供
事業名	スポーツ合宿誘致事業
実績	道外団体～4団体（交通費、宿泊費助成）、地元支援団体助成～4団体 道内団体～3団体（宿泊費助成）
達成度	○

推進の重点項目	地域におけるスポーツ環境の整備充実
具体的施策	市民ニーズに応じた適確なスポーツ情報の提供
事業名	市の主催事業や体育協会の各種事業・教室の案内
実績	スポーツ教室（3回・14教室・延べ参加者1,363名）、各種スポーツ大会（12大会） 参加者1,162名
達成度	○
課題	体育協会のホームページに市主催事業・教室の開催案内等の情報掲載を一元化したい。

推進の重点項目	地域におけるスポーツ環境の整備充実
具体的施策	施設の充実
事業名	スポーツセンターの改修事業
実績	1. スポーツセンターの改修工事（2か年で実施の初年度）～124,456,500円 ①屋根全面PF敷き込み ②アリーナ部分既存防水シート劣化部分撤去 ③耐震改修その他
達成度	○

推進の重点項目	地域におけるスポーツ環境の整備充実
具体的施策	施設の充実
事業名	市営大山スキー場リフト施設購入事業
実績	民間企業からリフトを購入したことにより、市民の冬期スポーツ・レクリエーションの拠点であるスキー場を存続することができた。 施設が老朽化しており第1リフトの運行となった。 リフト購入費～12,111,642円
達成度	○
課題	第2リフトの施設整備を実施したい。

推進の重点項目	地域におけるスポーツ環境の整備充実
具体的施策	施設の充実
事業名	体育施設整備事業
実績	体育施設の年次による計画的な整備の実施 ①上渚滑農村公園パークゴルフ場トイレ改修～ 262,500円 ②陸上競技場の4種公認の継続認定取得 ～5,821,370円
達成度	○

推進の重点項目	学校と地域社会、スポーツ団体との連携
具体的施策	子ども達の多様なスポーツニーズに応えるための学校、地域、スポーツ団体による融合の推進
事業名	学校開放事業
実績	開放日数404日、延べ利用者5,362人 種目～バレーボール、ミニバレー、バトミントン、バスケットボール等
達成度	○
課題	未実施校の開放と管理運営の在り方検討

推進の重点項目	学校と地域社会、スポーツ団体との連携
具体的施策	子ども達の多様なスポーツニーズに応えるための学校、地域、スポーツ団体による融合の推進
事業名	紋別市スポーツ少年団助成事業
実績	①スポーツ少年団に対する運営費補助金の交付(13団体) ②スポーツ少年団に対する大会参加助成(地区大会33、全道大会3、全国大会2)
達成度	○

推進の重点項目	総合型地域スポーツクラブへの取り組み
具体的施策	地域住民が主体的に運営するスポーツクラブの創設と運営への支援
事業名	上渚滑総合スポーツクラブ設立準備委員会の立ち上げ
実績	人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいスポーツクラブとして文部科学省が「総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業」を創設したのに伴い、先導的な取り組みとして上渚滑地区が準備委員会を立ち上げて平成22年度の設定を目指している。
達成度	○

(10) 博物館と文化財

(推進目標)

新博物館の活用促進を図るとともに、文化財の保護・活用に努める。

推進の重点項目	博物館の充実と利用促進
具体的施策	博物館施設の整備・充実
事業名	旧NTT ラインマンセンター改修事業
実績	旧 NTT ラインマンセンターを紋別市立博物館分館「まちなか芸術館」として平成 19 年度改修。村瀬真治氏の絵画や齊藤顯治氏の彫刻の常設展示場、資料収蔵庫、多目的ホール、交流室などを備えた施設として平成 20 年 5 月オープンし、施設の整備が図られた。 ・鉄筋コンクリート造 2 階建、延床面積 2,115.67 ㎡
達成度	○

推進の重点項目	博物館の充実と利用促進
具体的施策	博物館特別展の実施
事業名	博物館特別展・企画展開催事業
実績	特別展「北の版画家たち」や「博物館でタイムトラベル」、「組み木のおもちゃ二人展」、「洋画家後藤陸夫の世界展」など、主催や共催の特別展・企画展を 12 回開催し、延 19,597 人の見学があった。
達成度	○

推進の重点項目	博物館の充実と利用促進
具体的施策	講座・シンポジウムの開催
事業名	講座・シンポジウム開催事業
実績	番屋講座や子ども考古学教室、講演会「美術館・芸術館の可能性」や「懐かしき発動機焼き玉エンジン講演会」、オホーツク紋別「ピンホール写真フェスティバル」、「環オホーツク海文化のつどい」など延 24 回開催し、881 人参加。
達成度	○

推進の重点項目	博物館の充実と利用促進
具体的施策	まちなか芸術館の利用拡大
事業名	
実績	村瀬真治氏と齊藤顯治氏の常設展入場者が 7,431 人。まちなか交流室での会議等での利用 80 件 1,839 人。多目的ホールでの演劇公演やコンサート、防災展、民間商品展示会やシンポジウム、サークル練習等の利用が 164 件 4,594 人あり、市民の利用が広がった。
達成度	○

推進の重点項目	文化財の保存・活用
具体的施策	オムサロ遺跡公園整備・公開
事業名	オムサロ遺跡公園整備事業
実績	5月から10月まで管理人を常駐。環境整備、来園者への案内・説明を行うとともに、復元住居の補修等を行う。平成20年度入園者1,307人。
達成度	○

推進の重点項目	文化財の保存・活用
具体的施策	文化財の調査とガイドマップの発行
事業名	文化財調査・活用事業
実績	オムサロ C 遺跡を札幌大学と共同調査し、縄文式土器、オホーツク式土器や飾り玉、石器など発掘。開発事業に伴う埋蔵文化財協議と遺跡所在調査4件。紋別の歴史をかねたオムサロ遺跡公園リーフレットを発行。
達成度	○

推進の重点項目	文化財の保存・活用
具体的施策	文化財の登録・保存・周知化の促進
事業名	
実績	国登録有形文化財(建造物)として、旧上藻別駅通所を平成20年10月23日登録。
達成度	○

推進の重点項目	文化財の保存・活用
具体的施策	アイヌ文化の普及・啓発
事業名	
実績	「環オホーツク海文化のつどい」、「氷海の民シンポジウム」の開催や、「アイヌ文化を学ぶつどい」、「アイヌ民族伝統工芸品展」などを主・共催し、アイヌ文化への理解と普及を図った。
達成度	○

(11) 図書館

(推進目標)

市民の図書館利用促進を図るとともに、他の教育・文化・産業施設との連携を密にし、図書館としての市民の生涯学習推進に努める。

推進の重点項目	図書館利用の促進
具体的施策	図書館情報システムの整備
事業名	図書館システム更新事業
実績	電算機器及び図書館システムソフトを入れ替え、業務効率を向上させるとともに、12月にインターネットによる蔵書検索、1月にインターネット予約システムを開始し、各家庭からも蔵書検索や予約ができるようになり、読書機会の拡大や充実が図られた。
達成度	○

推進の重点項目	図書館利用の促進
具体的施策	絵本による親子のふれあい
事業名	ブックスタート事業
実績	保健センターで毎月行われる7ヶ月検診に絵本を手渡し、ボランティアによる読み聞かせを行い、絵本をとおした子育て支援と、絵本に親しみ図書館利用の拡大を図った。
達成度	○

推進の重点項目	図書館利用の促進
具体的施策	移動図書館の利用促進
事業名	移動図書館車配本事業
実績	小・中学校5校に移動図書館車による月2回の巡回貸出や、児童館・児童センター6か所、高齢者ふれあいセンター4か所に月1回の配本、青年の家、民間のばりぼ一文庫に2.3か月に1回の配本を実施。また、ぶっくる便による学校、団体へ図書お届け回収サービスを実施。
達成度	○

推進の重点項目	図書館利用の促進
具体的施策	図書館利用促進のための啓蒙
事業名	図書館利用促進事業
実績	読書感想文コンクールや親子読書講演会、夏休みや冬休みの工作教室、クリスマス会、絵本原画展、絵本読み聞かせ「絵本のじかん」、図書・雑誌リサイクル会を、学校図書館協会やボランティアの協力により実施。
達成度	○

推進の重点項目	図書館利用の促進
具体的施策	図書館蔵書の充実
事業名	
実績	幼児から高齢者まで幅広い市民に対応できる図書等や郷土資料の購入・受入れを図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度図書増加冊数 一般書3,188冊 児童書1,530冊 郷土資料143冊 合計4,861冊 ・平成20年度末図書館蔵書数111,144冊(20年度貸出実績115,640冊)
達成度	○

第2 学識経験者の意見

1 意見提出者

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の規定による教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会が行った点検及び評価の結果に関し意見や助言をいただくこととしました。

このことにより、点検及び評価の客観性を確保するとともに、いただいた意見等については、今後の施策、事業等の展開に活用していきます。

次の二人の方から意見等をいただきました。

小島 光 夫（紋別市社会教育委員会委員長）

松井 正 敏（前紋別市立紋別中学校校長）

2 点検及び評価に関する意見

小島 光 夫（紋別市社会教育委員会委員長）

（1）教育委員会の活動状況

月ごとの定例会に加え4回の臨時会が開かれ、適宜、必要に応じた会議が開催されたと思われる。また、各種研修会などに参加し他市の教育委員との情報交換や研鑽に努めるとともに、文教施設視察や各種行事等に出席するなど状況把握、現場理解に努めたことは評価される。

特に、平成21年度から平成25年度までの「紋別市生涯学習推進計画」を策定したことは、「第5次紋別市総合計画」の中に位置づけられた教育目標等の実現に時宜を得たものである。

教育委員会議における傍聴者が全くいなかったことは、市民への周知方法などに問題がなかったか検討してみる必要があると思われ、また、教育委員会議についての内容等の情報を一般市民に提供し、関心を持ってもらうような努力が必要かと思われる。

今後も、教育委員会議が本市の教育の充実に資するよう、より機能することを期待する。

（2）主要施策・事業等の実施状況

① 幼児教育・学校教育

学校給食における聞き取りの中で、食材費が高騰するなか、栄養バランスと食育を考慮しながら児童生徒への安全・安心な給食の提供に努められていることは評価される。

今後においては、なお一層より安全・安心な給食の提供のためにも、地場製品の活用を進めていただきたい。

② 社会教育

「生涯学習各期の教育及び女性教育」については、各期に応じた様々な事業を企画し運営に努められていることは評価できるが、事業によっては参加者が減少傾向にあることやマンネリ化していることなどが課題としてあげられる。

「芸術・文化」については、市民芸術・文化活動・郷土芸能等の伝承活動の促進に努めている。特に、「ホットランドオホーツク」の活動を支援し、中央から芸術家を呼ぶきっかけを作った。今後、各種事業が支援に応じた活動になっているか、検証する必要があるのではないかと思われる。

「学校支援地域本部事業」は平成20年度に設立されたが、今後、地域と学校とが連携し推進して行く事を期待する。

「社会体育」については、生涯スポーツ社会の実現に向け、環境整備、各関係機関・団体との連携促進に努めるとともに、市民のニーズを把握し各種スポーツ教室等の改善に努めている。今後、一層のスポーツ振興に取り組むことが望まれる。

「博物館と文化財」については、博物館の分館として「まちなか美術館」が5月1日よりオープンし事業に多くの参加者があったことは評価できる。また、埋蔵文化財4件の調査が行われた。今後は、事業の掘り起こしや開発、文化財マップの作成などが期待される。

「図書館」について、広報誌やHPによるPR活動の展開、読み聞かせ会、図書リサイクル等多くの事業を展開し図書館利用促進に努めているのは評価できる。今後一層、読書機会の拡充や図書の貸し出しが求められる。また、IT化による子ども達の文書離れが進んでいることから、図書館と学校とが連携し、子ども達が多くの図書にふれ合い読む機会が必要ではないかと思われる。

「施設整備」について、学校施設（潮見小学校グラウンド・南丘プール屋根）及び生涯学習施設（スポーツセンターの屋根等の改修及び身障者トイレ・スロープ新設）の改修などに努力している。今後は、スポーツセンターの残された部分の改修及び小向小学校新校舎シックスクール問題に関して、引き続き環境改善と体調不良の児童生徒・教職員へのケアが必要である。

松井 正敏（前紋別市立紋別中学校校長）

（1）教育委員会の活動状況

毎月の教育委員会定例会議及び4回の場合に即応した臨時会が開催され、61件にのぼる議決報告案件を審議したその内容は、適切な実施状況であったと思われます。

傍聴に関しては、0人ではあるが、広報掲載以外に敢えての工夫は必要ないと思います。

また、第5次紋別市総合計画の第4節「いきいきと学び続けるまちづくり」の幼児教育の中では、特にこれからの具体的な子育て支援としての幼保一元化を推進する「認定子ども園」の積極的な取り組みと双方行政機関の綿密な連携強化が必要と思われます。

(2) 主要施策・事業等の実施状況

① 幼児教育・学校教育

「幼稚園教育」においては、市内3幼稚園に対する就園に関する補助や研修助成等に努めていることは評価されます。

「学校教育」においては、教育環境の整備に関して、長年の懸案であった学校のグラウンド整備や周辺改修工事・不用施設の解体整備等がなされたことは高く評価されます。

② 社会教育

全般的に継続事業の実施に関しては遅滞なく進められていることは評価できることと思いますが、特に青年教育に関する参加者数等に鑑み、各企業への理解を求める要請や内容の工夫による参加増に努め、青年層の健全育成を重視していく必要があるように思われます。

「芸術・文化」については、「まちなか芸術館」等、施設面での充実がなされて来ていて、招聘事業も大型化されている中、市民の日常の活動において、各部門が恒常的に使用できる練習会場の確保問題や発表しやすい環境整備については生涯学習の観点からも、文化連盟等との継続した取り組みが必要と思われま

す。「博物館と文化財」については、時宜を得た催物・特別展を図る工夫がなされていたことは評価できると思います。今後は、より一層の郷土資料の整備や散逸しない前の物品の収集に努め、資料の増加を図ることが肝要と思われま

す。「図書館」については、館内の読書環境整備がよくなされていることは評価できると思います。近年の活字離れ対策としての読書に親しむ充実事業としては、既定の読書感想文コンクールを発展させ、学校教育との連携を深める必要があると思われま

す。「社会体育」においては、各分野において熱心な取り組みが日々なされ、また、サッカー場の整備充実等推進目標が十分に達成できていると思われま

す。学校と地域社会スポーツ団体との連携については、学校間だけで開催できない競技種目(柔道・剣道・相撲・陸上競技等)があることから、特に伝統種目と学校教育目標との融合を図っていかないとうまく機能していかない場合があり、相互理解しあえる協議の場を設定する必要があると思われま

資 料

1 紋別市の教育目標と内容

(1) 進んで知識を求めるとともに、技能や技術を高める努力をする。

- ①積極的に知識を広め、真理を探究する。
- ②情報を的確にとらえ、創造的に思考し正しく判断する。
- ③個性の伸長をはかり、自己を豊かに表現する。

(2) 命を大切にし、進んで健康づくりに努力する。

- ①命を大切にし、生命尊重の社会を実現することに努力する。
- ②健康の保持、増進のための知識・技能を高め、健康な生活の向上に努力する。
- ③事故防止や災害防止に努め、安全な生活をするように努力する。

(3) 自然を愛し、豊かな情操を高める努力をする。

- ①自然に親しみ、進んで環境保護に努力する。
- ②豊かな自然の恩恵を大切にし、情操豊かな心情を高める。
- ③郷土の文化遺産を継承・発展させ、芸術・文化活動を創造する。

(4) 働くことに誇りをもち、豊かな生活の向上に努力する。

- ①働くことの意義を知り、合理的な生活の創造に努力する。
- ②豊かな愛情をもち、理性をもって判断する。
- ③勤労の精神を尊び、力強く実践する。

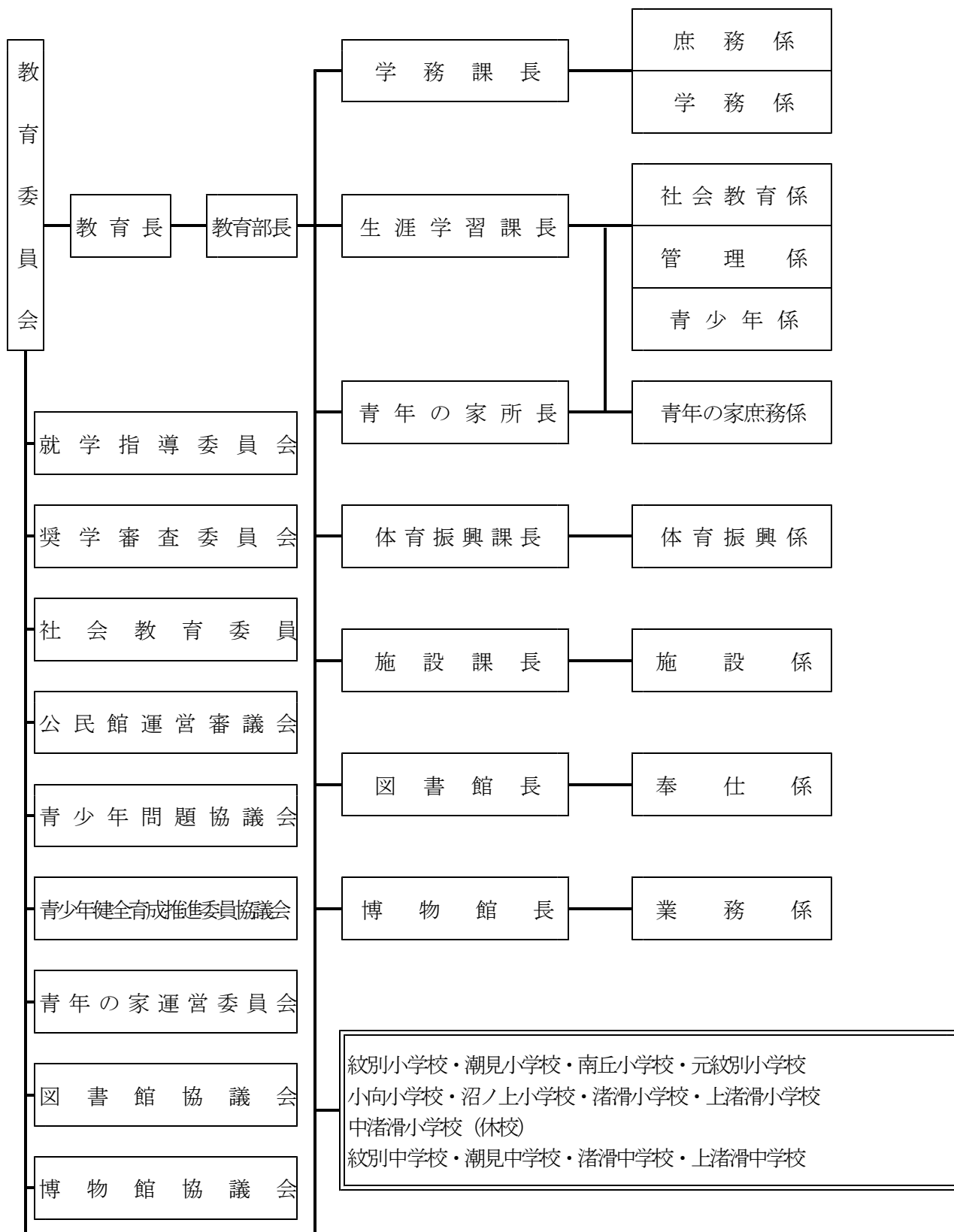
(5) 郷土を愛し、連帯意識を高め、社会の発展に努力する。

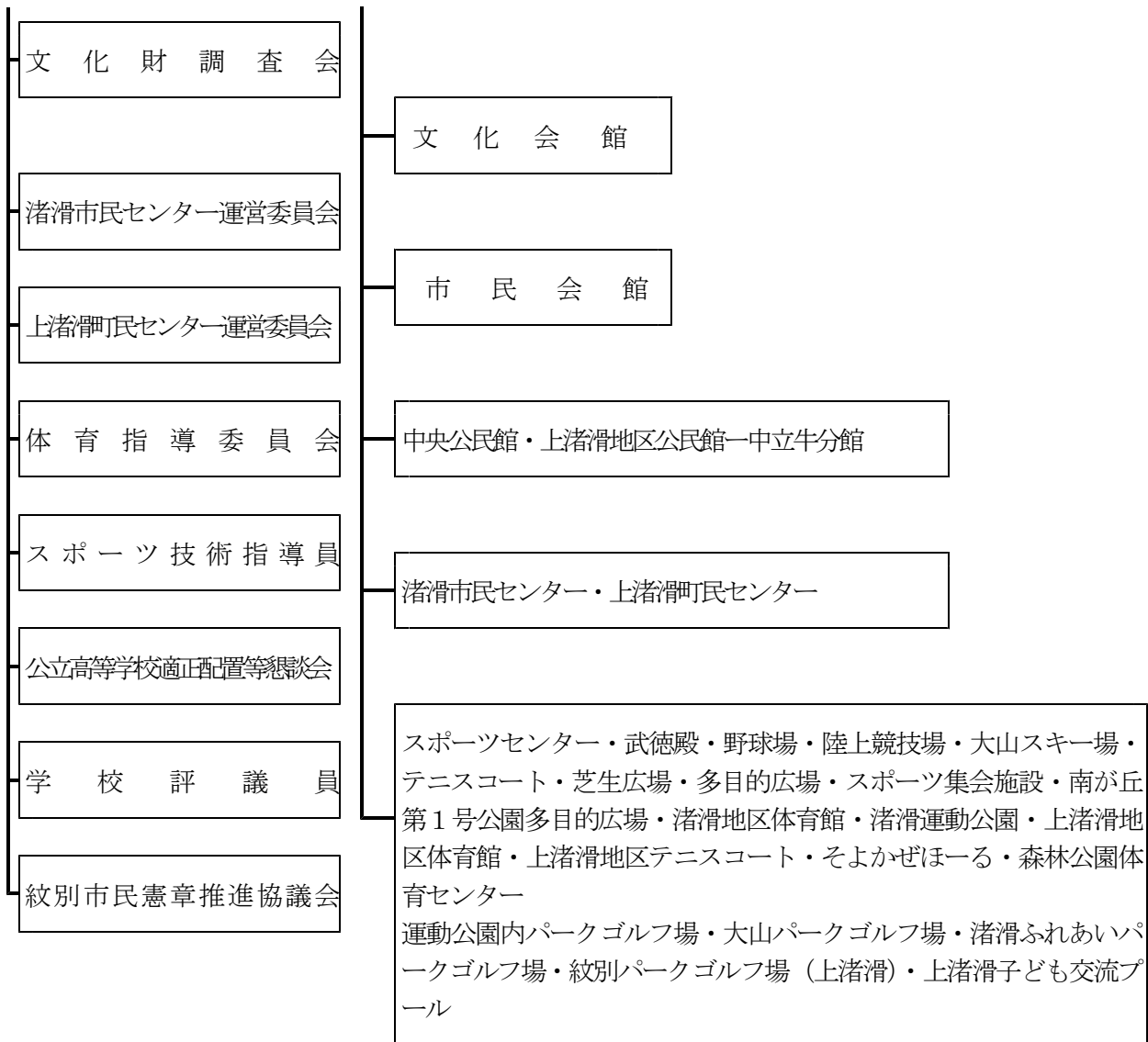
- ①家庭の大切さを理解し、明るい家庭の創造に努力する。
- ②市民としての自覚を大切にし、郷土の発展に努力する。
- ③人と人との連帯感を高め、社会の福祉に貢献する。

2 教育委員名簿

職 名	氏 名	性 別	最初の就任年月日 (期日)
			今期の任期年月日
教育委員長	み 三 うら 浦 とし 寿 お 夫	男	平成13年10月 1日(2期目)
			自 平成17年10月 1日 至 平成21年 9月30日
			委員長就任年月日 平成20年12月29日
委員長職務代理者	こ 小 ばやし 林 まさ 正 お 男	男	平成18年12月25日(1期目)
			自 平成18年12月25日 至 平成22年12月24日
教育委員	かみ 上 ばやし 林 ぜん 善 しょう 證	男	平成20年 4月 1日(1期目)
			自 平成20年 4月 1日 至 平成24年 3月31日
教育委員	き 喜 た 多 とし 俊 はる 晴	男	平成20年12月28日(1期目)
			自 平成20年12月28日 至 平成24年12月27日
教 育 長	にし 西 だ 田 しゅう 修 じ 次	男	平成16年 4月 1日(3期目)
			自 平成20年11月15日 至 平成24年11月14日

3 行政組織





4 平成20年度小中学校児童生徒数及び学級数

小学校

中学校

小学校										中学校							
区	分	紋	潮	南	元	小	沼	渚	上	合	区	分	紋	潮	渚	上	合
		別	見	丘	紋	向	上	滑	渚	計			別	見	滑	渚	計
児童数	1年	74	90	29		1	2	7	6	209	生徒数	1年	111	74	10	9	204
	2年	64	80	45	1	1	2	11	5	209		2年	122	86	4	5	217
	3年	58	78	26		3		8	9	182		3年	107	73	8	10	198
	4年	72	77	42			4	12	7	214		特学	4	5	2	1	12
	5年	69	92	36		4		8	6	215							
	6年	62	74	33		2	1	13	9	194							
	特学	7	6	5	1	1	1	2		23							
	合計	406	497	216	2	12	10	61	42	1,246		合計	344	238	24	25	631
学級数	1年	3	3	1		1	1	1	1	11	学級数	1年	4	3	1	1	9
	2年	2	3	2	1			1	1	10		2年	4	3	1	1	9
	3年	2	2	1		1		1	1	8		3年	3	2	1	1	7
	4年	2	2	2			1	1		8		特学	2	2	2	1	7
	5年	2	3	1				1	1	8							
	6年	2	2	1		1		1		7							
	特学	4	4	3	1	1	1	2		16							
	合計	17	19	11	2	4	3	8	4	68		合計	13	10	5	4	32

平成21年5月1日現在

5 平成20年度児童生徒健康診断の状況

児童生徒の健康保持・増進のため保健所・学校医・学校歯科医などによる定期健康診断、各種検査、予防接種等健康管理を図っている。

(1) ぎょう虫卵検診（小学校1～3年）	受検者		606人
(2) 尿検査（小学校・中学校全学年）	受検者	小学校	1,244人
		中学校	623人
		計	1,867人
(3) 側わん症検診（小学校5年生・中学校1年生）	受検者	小学校	65人
		中学校	93人
		計	158人
(4) 心臓検診（小学校1年生・中学校1年生）	受検者	小学校	210人
		中学校	205人
		計	415人
(5) 耳鼻咽喉科検診（小学校2・5年生・中学校2年生）	受検者	小学校	427人
		中学校	227人
		計	654人
(6) 眼科検診（小学校1・4年生・中学校1年生）	受検者	小学校	432人
		中学校	205人
		計	637人

6 平成20年度学校給食の状況

本市の学校給食は、完全給食であり、調理方式は2方式で実施している。

(1) 学校給食の概要

区 分	施 設 数	給 食 数
単 独 校 調 理 方 法	1	406
共 同 調 理 場 方 式	5	1,471
計	6	1,877

(2) 施設の状況

①単独校調理方式

施設名～紋別小学校

②共同調理場方式

施設名	潮見地区 共同調理場	南が丘地区 共同調理場	元紋別地区 共同調理場	渚滑地区 共同調理場	上渚滑地区 共同調理場
対象校	潮見小学校 潮見中学校	紋別中学校 南丘小学校	元紋別小学校 小向小学校 沼ノ上小学校	渚滑小学校 渚滑中学校	上渚滑小学校 上渚滑中学校

(3) 学校給食費の推移

[小学校]

(単位：円)

年度	1食当たりの額				年間給食費	全道の状況	
	主食	牛乳	副食	計		1食当たり	年額
18	33.57	34.27	152.16	220.00	44,000	215.30	41,312
19	33.78	35.15	151.07	220.00	44,000	215.48	41,419
20	37.01	36.28	161.71	235.00	47,000	220.75	42,284

[中学校]

(単位：円)

年度	1食当たりの額				年間給食費	全道の状況	
	主食	牛乳	副食	計		1食当たり	年額
18	38.77	34.27	166.96	240.00	46,800	261.32	49,228
19	39.03	35.15	165.82	240.00	46,800	261.07	49,258
20	42.96	36.28	180.76	260.00	50,700	266.41	50,237

7 平成20年度生涯学習施設等利用状況

(1) 市民会館・中央公民館

○利用状況

(市民会館)

大ホール		小ホール		会議室		控室		楽屋		パントリー		結婚式場		合計	
回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
83	22,357	108	13,940	230	9,010	56	1,197	109	1,094	11	80	2	9	599	47,687

(中央公民館)

和室1・2号		研修室1号		研修室2号		料理講習室		展示ホール		合計		市民会館・中央公民館	
回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
245	3,235	257	4,088	283	2,873	57	1,058	358	7,527	1,200	18,781	1,799	66,468

(2) 紋別市文化会館

○利用状況

多目的ホール		楽屋		会議室		特別会議室		サークル室		合計	
回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
74	8,494	35	284	129	3,602	47	1,402	664	9,286	949	23,068

(3) 紋別市上渚滑町民センター

○利用状況

大ホール		会議室		和室1号		和室2号		調理実習		展示ホール		合計	
回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
69	3,092	138	2,112	36	778	40	756	37	485	15	400	335	7,623

(4) 紋別市渚滑市民センター

○利用状況

大ホール		会議室		和室1号		和室2号		調理実習		展示ホール		研修室		合計	
回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
69	2,374	82	1,575	42	1,140	41	1,137	34	203	6	653	8	50	282	7,132

(5) 紋別市立博物館

○利用状況

(博物館)

展示室入館者数				生涯学習スペース等利用者数											合計
個人	団体		計	市民ギャラリー		郷土学習室		工芸室		窯室		市民ホール		計	
	団体	人数		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数		
23,713	64	1,250	24,963	173	21,168	313	4,722	359	2,262	137	233	138	16,732	45,117	70,080

(まちなか芸術館)

展示室入館者数				交流スペース等利用者数					合計
個人	団体		計	まちなか交流室		多目的ホール		計	
	団体	人数		件数	人数	件数	人数		
6,945	16	486	7,431	80	1,839	164	4,594	6,433	13,864

○収蔵資料数

総集	情報	地学	生物	考古学	民族	生活	産業	文書	美術	合計
377	71	1,147	2,670	3,201	187	6,805	4,795	2,213	486	21,952

(6) 図書館

○利用状況

区分		一般	児童書	紙芝居	郷土資料	その他	小計	雑誌	視聴覚	合計
貸出 冊数	個人	65,131	25,712	194	802	3	91,842	6,087	930	98,859
	団体	3,991	9,202	893	99	188	14,373	377	164	14,914
	移動図書館車	197	1,618	6	27	0	1,848	19	0	1,867
合計		69,319	36,532	1,093	928	191	108,063	6,483	1,094	115,640

○蔵書数

区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術	6 産業
冊数	3,455	1,865	5,996	8,668	4,208	4,808	2,074
区分	7 芸術	8 言語	9 文学	児童書	郷土資料	視聴覚資料	紙芝居
冊数	6,692	1,128	31,502	33,752	4,750	1,626	620
合計						111,144	

(7) 社会体育施設等

(スポーツセンター)

個 人				団 体	合 計
一般大学生	高校生	小・中学生	計		
8, 476	1, 464	2, 485	12, 425	21, 292	33, 717

(紋別市そよかぜほーる)

個 人					団 体	合 計
一 般	65歳以上	高 校	小・中学生	計		
2, 256	2, 641	677	1, 614	7, 188	925	8, 113

(紋別市森林公園体育センター)

個 人				団 体	合 計
一般大学生	高校生	小・中学生	計		
10, 317	327	942	11, 586	2, 052	13, 638

(オホーツク紋別球場)

一 般	高 校 生	小・中学生	合 計
2, 181	180	3, 870	6, 231

(紋別市内パークゴルフ場)

施 設 名	設 置 年	利用人数 (人)
運動公園内パークゴルフ場	平成 元年	24, 142
大山パークゴルフ場	平成 9年	10, 185
渚滑ふれあいパークゴルフ場	平成11年	32, 733
紋別パークゴルフ場	平成 8年	15, 324

(紋別市立紋別武徳殿)

柔 道	剣 道	弓 道	居 合 道	少林寺拳法	そ の 他	合 計
5, 1 2 2	6, 6 9 4	1, 7 3 7	1 8 9	2, 0 4 2	5	1 5, 7 8 9

(紋別市上渚滑地区体育館)

個 人				団 体	合 計
一般・大学生	高校生	小・中学生	計		
2, 4 6 9	8 1	1, 4 3 6	3, 9 8 6	3 9 3	4, 3 7 9

(紋別市営上渚滑地区テニスコート)

一般・大学生	高校生以下	合 計
7 7	1 1 0	1 8 7

(紋別市渚滑地区体育館)

個 人				団 体	合 計
一般・大学生	高 校 生	小・中学生	計		
7, 1 3 8	6 3 7	1, 2 2 8	9, 0 0 3	1, 0 2 7	1 0, 0 3 0

(紋別市上渚滑子ども交流プール)

開館日数	個 人					団 体	合 計
	幼 児	小学生	中学生	保護者	合 計		
2 8. 0	7	3 5 5	4 5	1 7	4 2 4	4 5	4 6 9

(紋別市営大山スキー場)

平成20年度のシーズン中、226,130人(延べ人数)が利用。

(8) 青年の家

○地域別利用人員及び団体数

区 分	地元(所在地)	管 内	道 内	道 外	合 計
延利用者数	4,793	1,060	915		6,768
延非宿泊者数	3,798				3,798
延宿泊者数	544	595	590		1,729
利用団体数	(226) 15	15	12		(226) 42

※利用団体数の()内は日帰り団体数